令和7年度					機	器	;	購	入	•	設	計	 	書			
A 3114 E	-1. A 7114 E		H	3.00		3m 🗗 [-	b.11	<u></u>		⇒n. ⇒ I	-1- √	ميا حاجة مايان				岩手中部水道企業団	
企業長	副企業長	局	長	課	長	課長補	f 佐	係	長	設計	者	精算者					
着手		н		自	令和	年	月	Ħ	1			補助					
有于 	++-0			自	令和	年	月	E	1		適	上段:	当	初設	計		
ata. N	期	日		至	令和	8年	2月	27	日			下段:	変	更設	計		
完成				至《	令和	年	月	F	1								
	第 124 号																
											要						
納	場	所	岩手口	中部才	〈道企	業団	危機管	管理も	アンタ	_							
件							装置	置更	新								
設言	金	額	金								円也						
				別紙の	のとお	3り											
購入	、 内	容															

費目	種別	形状	単位	数量	単 価	金額	摘要
機器費	全自動固相抽出装置		式	1			
	機器費計						
	II X THE X III						
直接費	据付調整費		式	1			
	合計						

全自動固相抽出装置更新仕様書

1 件名

全自動固相抽出装置更新

2 納入場所

岩手中部水道企業団 危機管理センター

3 納入期限

令和8年2月27日(金)

4 仕様

- 1) 固相抽出部
- ①サンプル通液、固相抽出、サンプル濃縮などの作業を自動で行えること。
- ②Sep-Pak PLUS 型カラムを最大 40 個セット出来るサンプルラックを装備し、1 サンプル〜最大 5 サンプルずつ独立した流路で同時に処理ができ、かつ 1~40 サンプルまでの任意の設定が可能であること。
- ③6種類プラス装置本体テーブル内の溶媒リザーバー3ヶ所に3種類=計9種類の溶媒を一度に設置出来、制御が可能なこと。
- ④40 サンプルを同時に加温及び気体吹き付けによる濃縮が可能であること。
- ⑤廃液の流路を切り替え、水と有機溶媒とをそれぞれの廃液タンクへ回収できること。
- ⑥5 連ニードルから吐出可能な窒素ライン部材に、妨害となるフェノールの発生を 抑えたものを使用し(材質:フッ素樹脂、ステンレス)、濃縮工程と乾燥工程の流路 が区分けされていること。

2)制御部

- ①制御用パソコンはノート型で、固相抽出部を制御可能なこと。
- ②ソフトは日本語 Windows10 に対応し、運転中であっても処理本数を変更することが可能であること。
- ③エラー発生直前までのログをファイル保管ができること。
- ④制御用パソコンには Microsoft Office Home 日本語版(Word, Excel) 2024 (最新 永続版) オンラインコード版を現地にてインストールすること。

3) 設置等

- ①本装置の設置場所は担当者と協議、調整すること。なお、固相抽出部本体 1 式設置範囲(幅 1,150mm×奥行 750mm×高さ 1,180mm)、補機・ラック・PC 等設置範囲(幅 1,200mm×奥行 900mm×高さ 1,180mm)とする。
- ②搬入・据付・調整作業・本システム各部据付作業を行うこと。また、既存装置を2台

撤去後、委託者の指示する危機管理センター内の所定の場所まで移動すること。

③据付終了後、試運転及び外観検査・性能検査を行い、担当職員に対しては操作および 保守に関する充分な説明とトレーニングを実施すること。

4) その他

- ①受注者は、本仕様機器について、引渡し後1年以内に発生した故障については、無 償で復旧を行うこと。
- ②本仕様書に記載のない事項及び記載事項に疑義が生じた場合には、担当者と協議すること。

